

鹿児島港臨港道路(鴨池中央港区線)の 橋脚工事をを行います



臨港道路 約2.4km
(うち 橋梁区間 約1.1km)
(橋台 計2基、橋脚 計11基)

国土交通省 九州地方整備局
鹿児島港湾・空港整備事務所
『発行:令和6年10月』

鴨池校区コミュニティ協議会 HP
(臨港道路情報掲載ページ)



撮影:令和3年9月

■ 事業目的

鹿児島港臨港道路整備事業(鴨池中央港区線)は、南北20kmに渡る鹿児島港において、港内の円滑な港湾物流の確保と周辺道路の交通混雑の緩和を目的として、鴨池港区から中央港区間に臨港道路をつくる事業を実施しています。

■ 現地工事着手のご報告とご理解・ご協力をお願い

このたび、臨港道路をつくるにあたり11基ある橋脚の内、昨年までに製作した7基の東側に新たに2基の橋脚(P1,P2)を製作する工事を行います。工事はほぼ全ての工程が海上での作業となります。(作業内容は裏面をご参照ください)

作業期間中は、騒音や振動などが極力でないよう周辺環境に配慮して作業を行います。

地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

作業工程表

※ 工程は、天候・海象等により多少前後することがございます。

工種・作業	令和6年					令和7年												令和8年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
準備工	■																									
仮設工						■												■								
基礎工						■												■								
躯体工						■												■								
後片付け工																		■								

騒音・振動計

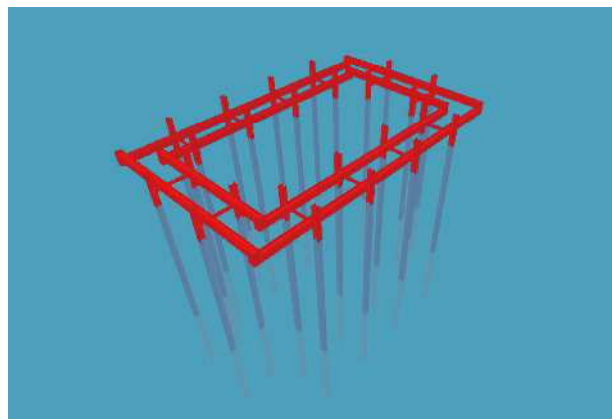


『鋼管矢板』を海底地盤に打ち込むときに、リアルタイムで測定が確認できる「騒音・振動計」を設置し、環境基準値内での作業を行い、生活環境に配慮します。
騒音規制値: 85 db以下
振動規制値: 75 db以下

橋脚工事の作業手順

1 仮設工

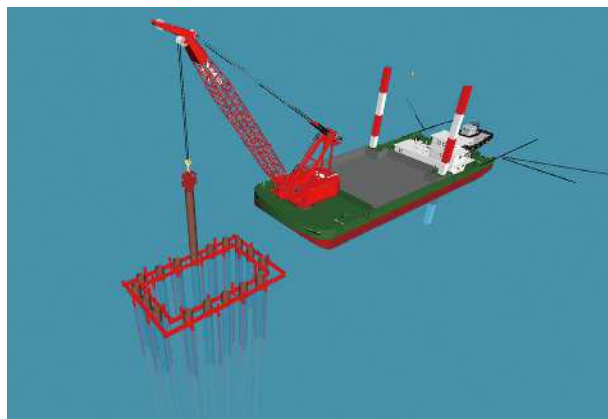
導杭・導枠設置



橋脚位置に「導杭・導枠」を設置します。導枠は、のちに設置する鋼管矢板を海底地盤に鉛直に打ち込むための定規の役割を果たします。

2 基礎工

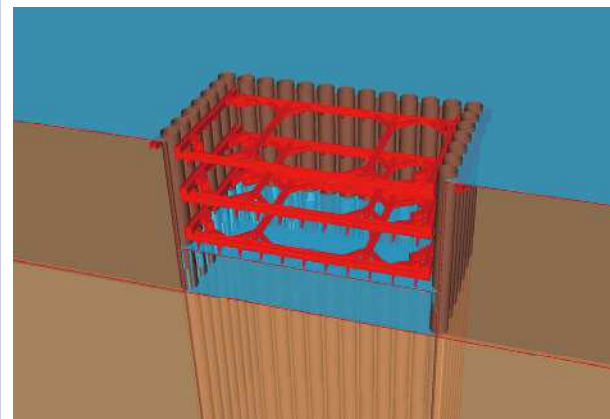
鋼管矢板打設



「鋼管矢板」を海底地盤に打ち込みます。鋼管矢板は橋脚1基当り38本を使用し、長方形に配置します。これを井筒と言い橋脚を支える基礎となります。

3 仮設工

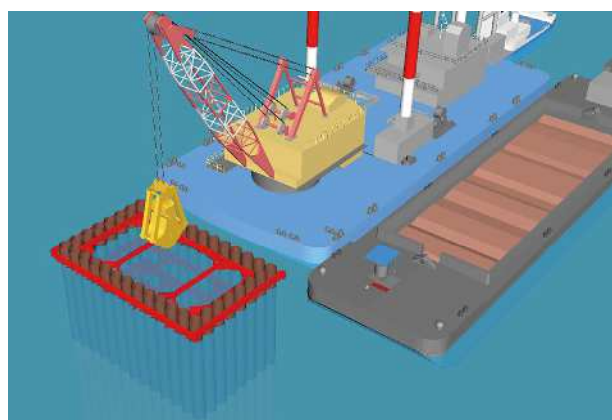
支保工設置



井筒内の海水を段階的に揚水しながら、鋼材で「支保工」を設置します。揚水→支保工設置を繰り返し行い、井筒内の水位を下げます。

4 基礎工

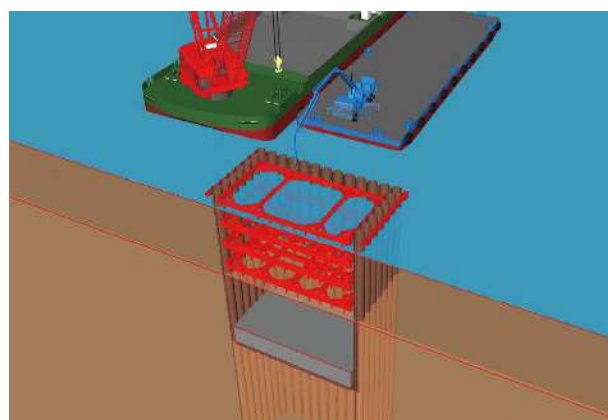
井筒内掘削



「井筒」内の海底を掘り下げます。掘り出した土砂は所定場所に適切に処理します。

5 基礎工

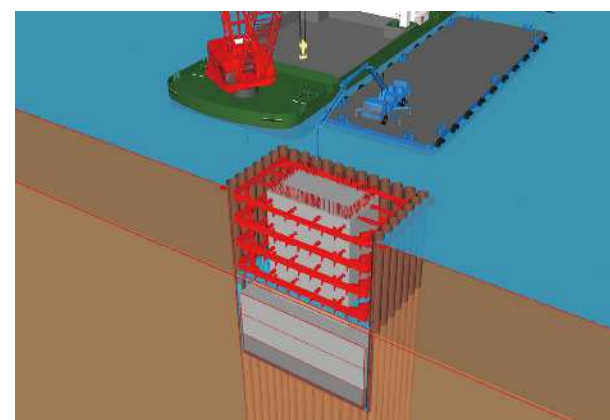
底盤コンクリート打設



掘削完了後、底から水が湧き出てくるのを塞ぐ蓋の役割を果たす「底盤コンクリート」を打設します。その後、井筒内の海水を全て抜き空洞にします。

6 躯体工

躯体コンクリート打設



鉄筋・型枠を設置後、コンクリートを打設します。5層に分けてコンクリートを打設し、下から上へ「躯体」を造り上げていきます。

7 基礎工

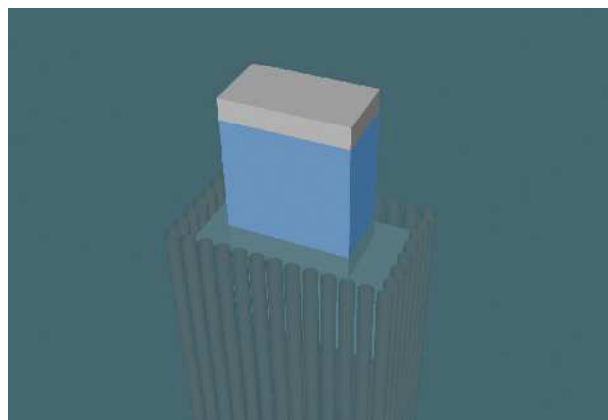
鋼管矢板切断・引き抜き



躯体が出来上がったら、海面上にまで突き出していた「鋼管矢板」を海底面付近で切断し引き抜きます。

8 橋脚完成

橋脚の完成です。



P1工事
みらい建設工業株式会社
九州支店
鹿児島港P1作業所
P1工事担当現場代理人:高谷和希
TEL:080-2161-4786

P2工事
東洋・本間特定建設工事
共同企業体
鹿児島港作業所
P2工事担当現場代理人:野田龍之介
TEL:090-1253-8296

工事受注者

発注者
国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
九州地方整備局
鹿児島港湾・空港整備事務所
TEL:099-223-3296